



柳沢中学校だより

朱雀の翼

西東京市立柳沢中学校
校長 浅野 周子
電話番号 042-463-5014
FAX番号 042-462-3104
令和5年6月26日 第3号

大事にするということ



6月の朝礼で「尊重」することを意識して生活してほしいと話しました。尊重するとは、相手を大事にするということです。

今後も繰り返し「尊重するということ」について話していきますが、私たちは、生まれた時から「基本的人権」を日本国憲法で保障されています。この権利は、だれも侵すことのできない永久の権利です。

柳沢中学校では、266人の生徒と教職員40人、おおよそ300人強の人たちが一緒に生活しています。柳沢中という小さな社会でも、いろいろな人が生活しています。それぞれに個性があり、同じ人はいません。だからこそ、いろいろな個性を尊重し、お互いに認め合い、支え合って生活することが学べる場所です。

ちなみに、わがままや自分勝手な言動は個性とは違い、ただの迷惑な人です。大事なことは、どの人も尊重され、1人1人、大事にされなければいけません。

この人になら、ちょっとだけならいいだろう。嫌がってないからいいだろうというのは、絶対にだめです。自分がされて嫌なことは、絶対に他の人にはしてはいけません。

そして、完璧な人はいません。誰にでも得意な分野と苦手な分野があります。失敗してもいいのです。失敗した人を責めたり、悪口をいったりすることはだめです。人によって成長のスピードが違うので、いつまでたっても精神年齢の低い人がいるかもしれません。自分を変えられない人もいるかもしれません。

だからこそ、みんなで支え合って、みんなが居心地いい空間をつくっていきましょう。

学校でしか経験できない集団におけるさまざまなことに取り組み、みんなが大きく成長できる場所が学校です。それぞれのクラスで、学年で、お互いを大事に尊重して支え合っていけるといいです。

「柳沢中でよかった。」「この学年でよかった。」「このクラスでよかった。」と言えるように「素敵な思い出」をつくっていきましょう。

「不来方の お城の草に寝ころびて
空に吸はれし 十五の心」

石川 啄木



放課後の居場所づくり 主催：新町柳沢青少年カフェ実行委員会

2018年から始まった「やぎカフェ」（柳沢中学校放課後カフェ）がコロナウイルス感染症拡大防止のために開催できないままでしたが、3年半ぶりに再開しました。6月15日の第1回目は、121名の生徒が参加し、放課後の時間を飲み物を飲みながら、ゲームをしたり、さまざまにトークをしたりして楽しそうに過ごしていました。放課後の子供たちの居場所づくりの1つとして地域の有志の方々が始めてくださった「やぎカフェ」は、お茶などの飲み物を無料で提供して下さり、授業や部活動とは違った時間を過ごすことができる場所として生徒たちの心の休憩時間になったのではないのでしょうか。第2回目は、期末考査6日前ということで、ゲームやおしゃべりはなしで開催するようです。（「めえめえ学習教室」は、金曜日からです。）



6/15はゲームやおしゃべりで盛り上がりましたが、6/22はテスト7日前なので、飲み物で癒されながら、テストの準備を頑張っていました。



昨年度に続いて、全校実施となった第52回運動会。他学年の競技や演技を見ることによってお互いの成長やすばらしさがわかり、自分も来年はあのように成長していくのだなと見通しをもつ意欲や意識が向上したのではないのでしょうか。

運動会に向けて、クラスで同じ目標に向かって頑張っていると団結力や絆が深まるものです。目には見えないけれど、「心がつながった瞬間」を感じることができたらいいなと思います。今だからこそ、経験できる貴重なことです。一人一人、自分ができることを、一生懸命努力している姿が美しいと思いました。

1人1役、運動会を盛り上げるために、何か仕事をして、柳沢中生みんなで作りに上げた運動会、学校だからこそ、経験できるすばらしいことです。

公開型の学校行事の1つである運動会は、日ごろの運動の成果や生徒の成長ぶりを発表する日です。今年も保護者やたくさんの地域の皆さまにご参観いただきました。そして、行事は、自分を成長させるいい機会です。生徒事後アンケートからは、自分を自分で育てていくことを意識して、一生懸命取り組んで、やり切った自分に出会えた人が多かったことが伺えます。最後までやり切った自分をほめてあげてください。中学生や学生のうちに達成感や成就感を味わえたら、将来の自分の自信につながっていくことでしょう。

全校練習の時に運動が得意な人、好きな人はその力を発揮し、そうでない人は、自分の体力づくりを意識して、なんとか頑張ってもらいたいと話しました。そして、結果はどうあれ、頑張る過程を大事にして、勝ちたいとか、優勝したい気持ちは当然だが、もし、失敗してしまった人がいたら絶対に責めないでくださいとも話しました。他者も自分も絶対に責めないで、頑張っていることを称える温かい気持ちを大切にしてほしい、それが優しい柳沢中生らしさ、いいところです。閉会式でみんなの頑張りを拍手で称え合い、労ったこともいい思い出になってくれたらいいです。



3泊4日の修学旅行を振り返る



東京駅丸の内南口改札口に行くと、「おはようございます。」とたくさんの笑顔に出会い、台風2号の心配が吹き飛び、爽やかな気持ちになった。これは、出だし好調。開校式での同行者（添乗員、看護師、カメラマン）の紹介では、温かい拍手がわき、なんとかお天気も味方についてくれて快適な修学旅行になりそうだと思える気持ちで新大阪駅に向かった。新幹線の中は、昨日の学年集会とは全く違う人たちかと思うほど、とても元気で仲睦まじく、久しぶりの賑やかな修学旅行列車であった。奈良では、過ごしやすい気候の中、「法隆寺」を見学し「薬師寺」の僧侶による説法で自ら「YSJ」の坊主説法大人気アトラクションとおっしゃったことに驚きながら、東大寺の大仏の大きさや邪鬼を踏みしめる金剛力士像の力強さに圧倒され、国立博物館前のベンチに座った頃には、日傘を広げるほどの暑さとなった。通りの向こうで柳沢中生が自販機で飲み物を買ってしっかり水分補給をしているのを見て、安心し、おっとりした鹿たちに癒された。全班が予定通り「白鹿荘」に帰館。

大広間で一同を介して楽しそうに食事する光景に、今年も修学旅行が実施できてよかったと思った。夜の二月堂散策（ナイトハイク）での夜景は、3年生たちにはどんな思い出になったのだろうか。翌日は班行動で京都へ移動して終日見学。日本の古都にいながら、一瞬、ここはどここの国だったかと思うほど外国人観光客が多かった。柳沢中生に「Challenge English」をもっと勧めておけばよかったと少し後悔した。万歩計が30,000近くなった教員もいたが、3年生たちもたくさん歩いて疲れたことであろう。この日の部屋食は、ハンバーグ。まさか3泊目のディナーでまたハンバーグを食べることになるとは、この時誰が予想したであろうか。自由時間は、開放した大広間でいくつものくるまざがで、この上ないほど楽しそうに過ごす3年生たちにほほえましさを感じ安気するひと時であった。

翌日は、半日タクシー行動。さすがに雨は降っていたが、運転手付き、プロによる解説付きの班行動で充実した観光ができたのではないだろうか。集合場所の京都劇場前で、閉校式が終了した頃には、やれやれ何とか無事に修学旅行も終わりに近づいてきたと心は、すでに京都駅を出発し東京駅を目指していた。

しかし、予定通りの京都駅発の新幹線に乗ってほっとしたとたん、台風2号の影響で「運転見合わせ」のアナウンスが流れ、ここから不測の事態が始まった。3年生たちは、不安もあったと思うが、先生たちの話をしっかりきいて、明るく素直に落ち着いて行動をしてくれた。添乗員さん、看護師さん、先生たち、大人のチームワークもよかったが、その原動力は、3年生たちの元気さ明るさ素直さであった。

今回のことでは、「備えあれば患いなし」「ピンチをチャンスに変える」ことの大切さを身をもって実感した。アメリカの作家ナポレオン・ヒルは「すべての逆境には、それと同じかそれ以上に大きな恩恵の種子が含まれている」と言っている。考え方次第で、逆境は障害物にもなれば跳躍台にもなる。

ポジティブ思考ができる力は、急激に変化していく社会でたくましく生き抜いていくために必須だと改めて思った。今回のさまざまな経験は、彼らのすばらしい栄養となり、今後の自信につながっていくであろう。



【3日目の夜】宿泊先が決まってディナータイム



【4日目の朝】買い出しのおにぎりとお水



【4日目の昼】buffetランチ

(左) 買い出しのおにぎり 1人1こずつ



(右) 【4日目の夕方】快晴
京都駅に向かう3年生たち



基本的な生活習慣を身に付けよう

生活委員会を中心に取り組んでいる「あじみこし」運動。小学生のときにも言われたことがあるのではないのでしょうか。柳沢中生でいるうちに、身に付けられて、自然に行動できるといいですね。意識（心）が変われば行動が変わります。これは、ウィリアム・ジェームズというアメリカの心理学者の言葉の一部です。

自分の「あいさつレベル」をあげていますか？登校時間に余裕をもって、5分早く家を出るようにしてみましょう。服装の乱れは、心の乱れとも言われています。背が伸びて、制服の裾丈（すその長さ）が短くなっている人はいませんか？自分のズボンやスカートの長さを確認してみましょう。自分の日常の言葉遣いにはNG言葉は出てきませんか？その人が発する言葉からその人の心が伺えます。コロナ禍で運動量や外遊びが減ったせいか、筋肉も弱くなっているそうです。正しい姿勢を保ちづらく、肘をつきやすくなっているそうですが、いかがでしょうか。

「あじみこし」を意識して生活していくと、社会人になったときに、居心地のいい環境の中で人から信頼される快適な生活づくりに役に立つことでしょう。



欲を言えば、**か** → **家庭学習を続けよう**を加えたいですが、「あじみこしか？」になってしまい、おかしい標語になってしまうので、皆さんの心の中に刻んでおいてください。



読む力、考える力、書く力UP作戦

今回は、「なぜ、勉強するのか」について考えてもらいました。提出してくださった中からいくつか掲載しますので、参考にしてみてください。答えは1つではありません。まだ、答えが出ていない人や納得できない人もいることでしょう。

自分なりに考え、自分が納得する答えが出るのが大切だと思います。➡「納得解」にたどりつけたらいいですね。

生徒作文

■僕は、勉強は自分が成長するため、将来のためにすることだと思います。勉強をして得られることは多くあります。そのなかで特に大切な事を考えてみました。

1つ目は、「学習能力を高めるため」ということです。勉強は面倒くさくて僕も嫌になってしまうことがあります。しかし、コツコツと勉強を続けていくと自分の自信にも繋がります。そして問題が解けるようになると楽しくなり、より勉強を続けられるようになると思います。

2つ目は「将来に向けて」ということです。中学校に入学するにつれて少しずつ大人になり、高校受験、就職など大きな壁にぶつかると思います。そのために中学校で様々な技術を身に付けたいです。そしてできることが増えると将来に向ける視野を広げることができると考えました。父は「子供の頃もっと勉強しとけばよかった」と言っていて確かに「小学校でやった事が中学校で生かされているな」と少し共感できました。

このように自分で「なぜ、勉強するのか」ということを考えたら、改めて勉強の大切さを知ることができました。僕もまだ頭の中で自分の将来を想像しているだけで勉強が得意ではないので今日考えたことを生かし、これから成長していきたいです。

➡私は「勉強をしなければいけない」と思ったことは一度もありません。勉強はあくまでも自分のため、自分の将来の仕事の幅を広げるためのものだと認識しています。勉強をしたくない人はしなければ良いと思うし、勉強したい人は好きなだけすればいいと思います。特に私は他者と比べて秀でていることや特に人以上にできることやこれといった特技もないので、学力をもっと身に付けて、もっと頑張る将来の選択肢をできるだけ増やし、10年後に自分の良さを生かして生き生きと楽しく過ごせれば良いなと思います。

